

ふくちやまし

議会だより

2019
8



■発行／福知山市議会 ■編集／広報広聴委員会 ■令和元年8月発行 No.123

福知山市 ふれあい大運動会



三段池総合体育館で開催された
「福知山市ふれあい大運動会」(6月22日)

市民のみなさんからの請願審査 …………… 5～6

ここが聞きたい！一般質問

各会派から16議員が質問に登壇 …………… 8～16

由良川改修促進特別委員会による
出張委員会を開催します(8月9日)……………17

5月臨時会・6月定例会

◇内水対策・災害復旧・学校統合関連の補正予算を可決 (モデル地区「大江町河守・公庄地域」の浸水被害の軽減に着手)

◇「国民健康保険料引き下げのための 国庫負担の増額を求める意見書」を国に送付

6月13日から7月5日までの23日間にわたって6月定例会を開催しました。

この定例会では、林道施設災害復旧、天津小学校や金谷小学校の統合整備、大江町河守・公庄地域の内水対策に関する調査費、認知症高齢者グループホームへの補助、プレミアム付商品券などの補正予算や、消費税率の引き上げに伴う手数料・使用料・料金に関する条例改正など19議案が市長から提案され、いずれも原案どおり可決しました。

また、一般質問は、24日～26日の3日間で行われ、16人の議員が質問を行いました。(質問内容はP8～16をご覧ください。)

質問については、5件が提出されましたが、いずれも不採択となりました。(内容はP5～6をご覧ください。)

さらに、議員提案した「国民健康保険料引き下げのための国庫負担の増額を求める意見書」を可決し、関係機関に意見書を送付しました。

また、本会議には、延べ115人の傍聴がありました。

6月定例会で決まった主な案件

令和元年度一般会計補正予算(第2号)

(万円未満切捨)

◇林道施設災害復旧事業(森垣地内 他5路線8カ所)	4734万円
◇修斉・天津小学校および上川口・金谷小学校統合整備事業(スクールバス購入 他)	1534万円
◇内水対策事業(大江町河守・公庄地域の内水対策の調査・設計費)	4500万円
◇社会福祉法人施設整備補助事業(旧精華小学校グラウンド跡地活用)	4870万円
◇地域間交流促進ネットワーク事業(市道・林道整備)	6579万円
◇プレミアム付商品券事業	11億3695万円

条 例

- ◇消費税率の引き上げに伴う条例の一部改正(廃棄物処理、斎場、農業集落排水、水道、下水道)
- ◇税条例 他6件の一部改正

その他

- ◇工事請負契約の締結(川北橋左岸上部工工事)
- ◇物品の取得(多機能型小型動力ポンプ付積載車、化学消防ポンプ自動車 他1件)
- ◇京都地方税機構規約の変更 他1件

議員提案

- ◇国民健康保険料引き下げのための国庫負担の増額を求める意見書

5月臨時会

5月10日から17日までの8日間にわたって、5月臨時会を開催しました。
議長・副議長の選出、各委員会の構成を行いました。また、大江町小谷地区の市道沿いの地すべり災害復旧事業など補正予算他8議案を、原案どおり可決しました。

■ 予算審査委員会

5月臨時会

民間保育所施設整備事業

問 補正予算債の概要は。

答 国の補正予算で措置された国庫補助金を受けて実施する投資的事業において発行を認められるものである。メリットとしては、充当率が100%であるため、事業実施時点では市の負担が実質ゼロとなることや、償還においても地方交付税の算入率が50%であることなどがあげられる。

消防通信指令システム管理事業

問 電話サービスセンターの設置場所はどこか。

答 設置場所は通信指令室である。119番通報を受けると翻訳会社へ転送し、翻訳会社と外国人の方との3者間での通話ができる。



3者間通話のイメージ図

土木施設災害復旧事業

問 市道小谷線沿いの地すべりの復旧スケジュールと地すべりの変位の状況は。

答 本年度の上半期に工事発注し、年度内の完成を見込んでいる。地すべりの変位は、平成30年7月7日の法面崩壊以降、それ以上の変位はない。



市道小谷線(大江町小谷)

介護保険事業

問 消費税増税に伴う低所得者の介護保険料の軽減により不足する保険料を補填するための、一般会計からの繰入金の財源は。

答 国が2分の1、府と市が4分の1ずつを負担する。また、市の負担分に対しては、消費税増税による国の増収分を原資として、普通交付税より措置される予定である。

審査結果

全議案賛成多数で可決

6月定例会

関係人口創出・拡大事業

問 委託先と委託期間は。

答 総務省のモデル事業に応募した時の提案で、『福知山公立大学のゼミなどを活用し、都市部の若者に対する本市への関心を高める取り組みを進めていく』ものである。委託先は、実施主体として採択を受けた福知山公立大学で、委託期間は令和元年度末までである。

修斉・天津および上川口・金谷小学校統合整備事業

問 財源として計上されている学校教育施設等整備事業債は交付税算入がないため、利息が付く市債ではなく一般財源で対応すべきではないか。

答 補正予算編成時点では前年度の決算状況が不確定であり、見込みとしての一般財源である繰越金を予算計上することについては、慎重を期す必要があると判断した。ただし今年度の財政運営の状況によつては、極力市債借入れをしなくても済むよう努めていく方針である。

「スクールバスの配置予定」について、本市はどのように考えているのか。

問

答 現在市が保有するスクールバスは22台あるが、全市の子どもたちの人数は減少傾向にあり、乗車人数に余裕のあるバスもある。今回の補正予算では小型バス2台分を計上しているが、市全体で効率的な運行ができるよう車両の適正な配置を考えており、両校の統合に伴う乗車見込みに基づき、天津小学校には中型バス、金谷小学校には小型バスをそれぞれ1台配置する予定である。今後も、配置するバスは、利用する子どもたちの人数に応じて全体配置の中で検討していく。



三和学園に導入されたスクールバス

プレミアム付商品券事業

問 業務の委託先と、販売方法および周知方法は。

答 今後国から具体的な事業実施に関する指示などの連絡があれば、委託に向けて事務を進めていく。福祉目的の事業であるので、できるだけ多くの販売場所を確保していきたい。周知については国・府と一緒に、市においても広報やホームページなどでPRに努めて行きたい。

骨髄移植後の予防接種接種費助成事業

問 対象の人数と今後新たに対象者が生じた場合の対応は。

答 現在問い合わせを受けているのは1名である。他に対象者があった場合は、今後継続して支援を実施していきたい。

審査結果

全員賛成で原案可決



5 臨時会・6 月定例会 委員会審査報告

主な議案審査

5月臨時会

■総務防災委員会

福知山市税条例の一部改正

問 本市のふるさと納税運用にどのような変更があるか。

答 本市は5月に指定団体に指定される見込みであり、個人住民税の特例控除分も維持され、影響はない。指定対象外の団体に寄附をする場合は特例控除が適用されなくなる。

(全員賛成で可決)

福知山市火災予防条例の一部改正

問 住宅用防災警報器など設置における免除要件の変更点は。

答 より感度の高いスプリンクラーヘッドの表現が1種に変わるものである。

問 法律改正に伴い日本工業規格から日本産業規格に名称変更するが、JIS規格という名称も変わるのか。

答 日本産業規格JISに名称変更になる。

(全員賛成で可決)

■教育厚生委員会

福知山市介護保険条例の一部改正

問 消費税増税に伴う低所得者の介護保険料の軽減幅を、本市独自に設定できるか。

答 今回の改正では、国から

6月定例会

■総務防災委員会

物品の取得(消防団車両)

問 小型動力ポンプ付積載車の4台取得に対し、多機能型小型動力ポンプ付積載車はなぜ1台なのか。

答 車両更新計画では各分団に多機能型小型動力ポンプ付積載車を1台配備することとしており、今回は有路下分団に配備する。全29分団への配備完了は令和8年度の予定である。

(全員賛成で可決)

物品の取得(化学ポンプ車)

問 タンク車と化学車を1台に統合した化学消防ポンプ自

(審査請求の棄却に反対)
賦課・徴収を適切に行わず未収となっていたものであるから、その責任は市側にあると考える。

賛成討論
(審査請求の棄却に賛成)
容認すると、本件以前の同様の案件についても遡って対応が必要となり、整合性が取れなくなるものになりかねない。

審査結果
本件審査請求を棄却するべきとする。(賛成多数)



化学消防ポンプ自動車(Ⅱ型)(購入車両イメージ)

動車として車両更新するが、不都合はないか。

答 1台に統合しても、市の消防力の基準を満たす6台のポンプ車は確保できることに加え、出動計画において応援態勢も整えているため問題ない。

(全員賛成で可決)

■教育厚生委員会

災害援護資金の貸付に係る運用の改正

問 貸付に係る運用を改正する背景と内容は。

答 昨年の7月豪雨において災害援護資金の借り入れをされる方はなく、それは保証人が必ず必要であることや、利率が3%であったことなどによるものと考えている。

今回の改正では、保証人を立てることを選択制とし、保証人を立てる場合は無利子、立てない場合は利率を1・5%とするなど、借入要件を緩和することとした。

(全員賛成で可決)

病院事業の設置等に関する条例の一部改正

問 大江分院の病床数が4床減る理由は。

答 京都府保健医療計画に基づいて本院の結核病床を4床減らすこととなった。それに

伴い、一般病床を大江分院から本院に4床を移すこととした。昨年度の一般病床の平均稼働率が本院で94%、大江分院で82%であり、本院の一般病床が比較的不足しているため、市民病院全体で限られた病床数の有効活用を図るものである。

■産業建設委員会

市バス運行事業に関する条例の一部改正

問 篠山市が丹波篠山市に市名変更したことに伴う本市の財政負担は。

答 今回の条例改正による費用負担は発生しない。

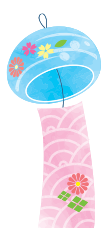
(全員賛成で可決)

工事請負契約の締結(川北橋左岸上部工事)

問 予定価格が1億4千万円を超える大きな工事であるが、入札参加者が1者となった状況は。

答 入札方式は条件付き一般競争入札であり、入札参加の公平性が確保されている中で、応募が1者であった。

(全員賛成で可決)



市民の皆さんからの請願審査

請願第4号 日米地位協定の見直しを求める意見書提出に関する請願

■請願者

福知山平和委員会 代表 水谷徳夫氏 他1名

■目的／京丹後市にXバンドレーダー基地が建設されて5年が経過し、京丹後市では、米軍人や軍属による車両事故が5年間で70件発生しており、これらの事故が福知山市などでも起こる可能性がある。全国知事会が「米軍基地負担に関する提言」を提出した項目に、福知山市の現状に合致するものがあることから、「日米地位協定」の見直しを求める。

■請願反対討論…………… 田淵 裕二

防衛や安全保障は国の専管事項

日米地位協定は、日米安全保障条約を基軸として日米同盟関係の包括的な枠の中で、国民の生命と財産および領土領海を守るために、民主主義という共通の価値観を有する日米両国で締結された重要な協定である。日本の防衛や安全保障などの問題に関係する事案は、政府が直轄する国の専管事項である。現時点で本請願内容に賛成することは適当ではない。

■請願賛成討論…………… 紀氏百合子

主権を侵す地位協定は見直しを

日米地位協定により米軍には日本の法律が適用されず事故や犯罪への捜査権もない。京丹後市では5年余で70件の交通事故に市民は泣き寝入りし、ドクターヘリの飛行も妨害された。福知山の自衛隊基地に実弾射撃訓練に来る米軍による事故も懸念される。全国知事会も平成30年7月、国に対し抜本的見直しを提言している。

■議決結果／不採択

請願第5号 「すべての遺伝子組み換え食品に表示を求める意見書」提出に関する請願

■請願者

北近畿から日本の食を考える会

水谷達也氏 他1名

■目的／「遺伝子組み換えでない」食品表示を、意図しない混入率を含めEU並みの0.9%未満とし、すべての遺伝子組み換え食品に表示を求める。

■請願反対討論…………… 柴田 実

消費者保護の観点で内閣府令公布

消費者庁は、昨年10月に改正食品表示基準案を公表し、表示の条件を厳しくする方針をまとめ2023年4月に施行する。平成31年4月25日、遺伝子組み換え表示制度に関する食品表示基準の一部を改正する内閣府令が公布され、遺伝子組み換え食品の情報が正確に伝わるようにするなど、消費者の立場に立ったものとなった。

■請願賛成討論…………… 塩見卯太郎

食品安全にEUなみの表示は不可欠

遺伝子組み換え食品は、2001年から遺伝子組み換えの表示が開始され、内閣府は2018年、遺伝子組み換えでない表示を0%以下とする提案をした。しかし食品の安全と消費者の知る権利、選ぶ権利のためには、EUなみに全食品の混入率を0.9%未満に表示することが重要である。

■議決結果／不採択



請願第6号 子どもたちの健全な育成に関する請願

■請願者

特定非営利活動法人ふくちやま元気まちづくりの会

事務長 坂口利明氏 他7名

■目的／孤食、欠食への対策、居場所づくりの場所として子ども食堂を開設している団体、グループに対して、参加人数に応じ、食材費にも適用される持続性のある助成制度の創設を求める

■請願反対討論…………… 吉見 茂久

助成制度は十分な検証が必要

子ども食堂は民間の自主的な取り組みとして始まり、貧困の枠にとらわれず、子どもの居場所づくりや高齢の方も参加できる交流の場として大切だ。請願趣旨の全小学校区に子ども食堂開設の助成制度に関する意見については、食材調達、場所、衛生面などや、地域協力体制を踏まえた子ども食堂の課題など十分検証する必要がある。

■請願賛成討論…………… 金澤 栄子

子ども食堂運営に助成制度を

子ども食堂は、1人で食事をする子どものために、地域のボランティアらが運営し始まったが、今では運営形態は多様化し、高齢者など幅広い世代と交流する「地域での交流拠点の場」として大きな意義がある。開設されている団体や、今後も地域で広がっていくことを応援するために、持続性のある助成制度が必要である。

■議決結果／不採択



請願第7号 小学校・中学校就学援助事業における認定基準の緩和を求める請願

■請願者

福知山市教職員組合 委員長 畔柳晋介氏 他1名

■目的／市では小学校・中学校就学援助事業の認定基準を生活保護基準の1.5倍に据え置くことで、教育費の援助が必要な多くの市民を財政的に援助してきた。しかし、昨年度からその基準を1.3倍にすることで、これまで支援を受けてこられた家庭が支援を受けられなくなっている。ついては、認定基準を1.5倍に戻し、緩和す

ることを求める。

■請願賛成討論…………… 金澤 栄子
安心して教育を受ける環境を

昨年、支給が受けられないと推定されていた人数は100名強だったが、新入学用品以外については346名が受けられなくなり、約3480万円の減額となった。あらためて認定基準を下げたことの大きさが明らかになり、貧困対策に逆行している。安心して教育を受ける環境をつくるためにも、1.5倍に戻すことが必要である。

■議決結果／不採択

請願第8号 「主要農作物種子法に代わる公共種を守る条例を求める意見書」提出に関する請願

■請願者

北近畿から日本の食を考える会 水谷達也氏 他1名

■目的／「主要農作物種子法」の趣旨を盛り込んだ、食の安全を守るために公共財としての種子を生産する条例の制定および都道府県などが有する種苗生産の知見について、民間企業への提供促進を規定した「農業競争力強化支援法第8条第4号」を削除すること。

■請願反対討論…………… 足立 治之
種子法代用公共品種を守る条例

日本にとって農業は、重要かつなくてはならない職種であると認識している。種子法は戦後の食糧安定供給を図るための法律であり、その内容は現在の農業実態と

は、かけ離れている。民間活力を導入し、担い手不足・高齢化などにより疲弊しきった農業から脱却しなければならない。よって種子法廃止は妥当であり、条例策定は不要。

■請願賛成討論…………… 中村 初代
優良種子の確保のための府条例を

種子法の廃止により、国は公費による種子の生産から、民間企業の参入による種子の開発に転換しようとしている。今後、稲などの種子価格の高騰や、地域に適した品種の維持、開発などの衰退が考えられる。優秀な品質の種子の流通を確保するため、財政措置を講じて、適切な基準を定める京都府条例が必要と考え、請願に賛成。

■議決結果／不採択

5月臨時会

■全員賛成で可決・同意となった議案

議第3号	福知山市税条例の一部改正
議第4号	福知山市都市計画税条例の一部改正
議第5号	福知山市火災予防条例の一部改正
議第7号	損害賠償の額

議第8号	専決処分の承認
議第9号	専決処分の承認
議第11号	固定資産評価員の選任 (大嶋康成 氏)

■議員別議案賛否一覧表（賛否が分かれた議案のみ賛否状況を掲載しています）

議 案		議決結果	福知山市議会公明党			日本共産党市会議員団				蒼土会			大志の会		福知山未来の会			新政会					無会派	
			大谷洋介	足立伸一	吉見茂久	吉見純男	塩見卯太郎	紀氏百合子	中村初代	金澤栄子	野田勝康	高橋正樹	足立治之	桐村一彦	馬谷明美	森下賢司	田中法男	小松遼太	中嶋守	柴田実	田淵裕二	大槻泰徳	藤本喜章	尾嶋厚美
議第1号	令和元年度一般会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	×
議第2号	令和元年度介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	×
議第6号	福知山市介護保険条例の一部改正	可決	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	×
議第10号	監査委員の選任(足立伸一氏)	同意	○	※2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	×
諮問第1号	農業集落排水施設使用料の納入通知処分に対する審査請求に関する諮問	※1	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	×

※1 本件審査請求を棄却するべきと答申

○:議案に対して賛成 ×:議案に対して反対 欠:欠席 ※ 芦田眞弘議員(新政会)は議長職のため表決に加わっていません。

※2 足立伸一議員(福知山市議会公明党)は候補者のため表決に加わっていません。(議第10号)

討論

議第1号・2号・6号 令和元年度一般会計補正予算 他

反対 消費増税を見越した条例改正に反対 塩見卯太郎

①内閣府の景気動向指数は6年ぶりに「悪化」と発表した
が、国会での消費税増税の是非をめぐり議論され、10月

実施は未定である。②軽減対策は、令和元年度から2年
間限定であり、低所得者の抜本的な軽減とはならず、福
祉向上とは言えない。

討論

諮問第1号 農業集落排水施設使用料の納入通知処分に対する審査請求に関する諮問

反対 審査請求棄却の判断は道理がない 紀氏百合子

使用者からは使用開始届が提出されていたのに、12年以
上も料金を徴収せずに未収となっていたものであり、小
倉自治会には何の落ち度もなく、責任はすべて行政にあ
る。職員や行政の責任、また今後繰り返さないためにど
う取り組むか、明確な答弁もなく、審査請求を棄却する
との市長の判断こそ道理のないものだ。

(他に反対討論をした議員 荒川 浩司)

賛成 使用料の請求自体はやむを得ない 足立 伸一

市の対応や責任とは別にして、事例は不当利得返還請求
ではないのか。利得と損失があり、その間に因果関係があ
り、利得に法的な根拠がない場合に不当利得は成立する
。過失は額に利息を付けられないだけである。長年の
使用料請求の徒過には過失を認めても、賦課請求自体に
影響はないので、審査請求の棄却に賛成する。

(他に賛成討論をした議員 足立 治之)

6月定例会

■全員賛成で可決・同意となった議案

議第12号	令和元年度一般会計補正予算(第2号)
議第13号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に關する条例の一部改正
議第14号	福知山市税条例等の一部改正
議第15号	福知山市消防手数料条例の一部改正
議第16号	福知山市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正
議第17号	福知山市斎場条例の一部改正
議第18号	福知山市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正
議第19号	福知山市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正
議第20号	福知山市病院事業の設置等に関する条例の一部改正

議第21号	福知山市バス運行事業に関する条例の一部改正
議第22号	福知山市農業集落排水施設条例の一部改正
議第23号	福知山市水道事業給水条例の一部改正
議第24号	福知山市下水道条例の一部改正
議第25号	工事請負契約の締結
議第26号	物品の取得
議第27号	物品の取得
議第28号	物品の取得
議第29号	公立大学法人福知山公立大学定款の変更
市会発意第3号	国民健康保険料引き下げのための国庫負担の増額を求める意見書

■議員別議案賛否一覧表(賛否が分かれた議案のみ賛否状況を掲載しています)

議 案 会派別議員名（議決結果）		議 決 結 果	福知山市 議会公明党			日本共産党 市会議員団				蒼士会			大志 の会		福知山 未来の会			新政会					無会派	
			大谷 洋介	足立 伸一	吉見 茂久	吉見 純男	塩見卯太郎	紀氏百合子	中村 初代	金澤 栄子	野田 勝康	高橋 正樹	足立 治之	桐村 一彦	馬谷 明美	森下 賢司	田中 法男	小松 遼太	中嶋 守	柴田 実	田淵 裕二	大槻 泰徳	藤本 喜章	尾嶋 厚美
議第30号	京都地方税機構規約の変更	可決	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第4号	日米地位協定の見直しを求める意見書提出に関する請願	不採択	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
請願第5号	「すべての遺伝子組み換え食品に表示を求める意見書」提出に関する請願	不採択	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
請願第6号	子どもたちの健全な育成に関する請願	不採択	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
請願第7号	小学校・中学校就学援助事業における認定基準の緩和を求める請願	不採択	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
請願第8号	「主要農作物種子法に代わる公共品種を守る条例を求める意見書」提出に関する請願	不採択	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○

○：議案に対して賛成 ×：議案に対して反対 ※ 芦田眞弘議員(新政会)は議長職のため表決に加わっていません。

討論

議第30号 京都地方税機構規約の変更

反対 税金を取り立てる行政に変質することに反対 塩見卯太郎

①本来、市民税は地方自治体の課税自主権にかかるものであるが、今回、税機構による課税実務の集約化をさらに加速する

もの。②地方自治体が住民の暮らしに心を寄せ、税金の相談など丁寧に行う立場から、税機構が税金を取り立てる行政に変えるものとなることから反対。

ここが聞きたい！ 6月定例会

一般質問

各会派から16議員が質問に登壇！



一般質問

質問議員

- | | | |
|------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| 1. 福知山市議会公明党
大谷 洋介 議員 | 7. 無会派
荒川 浩司 議員 | 13. 新政会
柴田 実 議員 |
| 2. 日本共産党福知山市会議員団
吉見 純男 議員 | 8. 日本共産党福知山市会議員団
紀氏百合子 議員 | 14. 福知山未来の会
田中 法男 議員 |
| 3. 蒼士会
野田 勝康 議員 | 9. 日本共産党福知山市会議員団
金澤 栄子 議員 | 15. 日本共産党福知山市会議員団
中村 初代 議員 |
| 4. 大志の会
桐村 一彦 議員 | 10. 日本共産党福知山市会議員団
塩見卯太郎 議員 | 16. 福知山未来の会
小松 遼太 議員 |
| 5. 福知山未来の会
森下 賢司 議員 | 11. 蒼士会
足立 治之 議員 | |
| 6. 新政会
中嶋 守 議員 | 12. 福知山市議会公明党
吉見 茂久 議員 | |

※所属会派は7月5日現在

※この一般質問の掲載内容は、質問内容をもとに各議員が作成しています。

Q 大江内水対策に対する目標設定は

A 台風21号による床上浸水の解消



内水対策が計画されている公手川樋門付近の状況

福知山市議会公明党
大谷 洋介 議員



問 昨年度、内水メカニズムを解析し、今年度、施設配置最適化計画を策定されているが、内容は、

答 浸水被害が特に大きかった大江町河守から公庄地区をまずは内水対策のモデル地区と位置づけ、国・府とも連携し進めてきた。河川改修、調整池、排水ポンプ施設などの整備を行う計画である。

(市長)

問 本市が計画を進められたと聞いたが、国・府の役割は。

答 国土交通省は、由良川本川の河道掘削や樹木伐採、また財政支援である。京都府は、蓼原川の護岸嵩上げやピットの整備とともに市の排水ポンプ整備への連携協力である。本市は、公手川の河川改修および護岸の嵩上げ、また、止水対策、調整池の設置、排水ポンプの設置である。

問 本市の自主防災マップの取り組みが、本年2月の国の参議院予算委員会で取り上げられたが。

答 石井国土交通大臣より、「住民が主体となった取り組みは、適切な避難行動の検討に大変有効である」との高い評価をいただいた。

(建設交通部長)

その他の質問

- 不適切な事務処理の防止に向けて
- 市立福知山市民病院の現状と今後について

Q 歯科診療所・川合診療所の再開を

A 歯科診療所は開院に向け調整中



早期再開が望まれる歯科診療所（三和町）

日本共産党福知山市会議員団
吉見 純男 議員



問 三和町千束にある市所有の歯科診療所の再開を地域住民は切望しているが、開院の見通しは。

答 前任の歯科医師から撤退の意向が表明されたあと、医師会、歯科医師会を通じて公募を行う中で、問い合わせが数件あった。現在開院に向けて調整中であり、見通しがつけばお知らせしたいと考えている。

問 診療再開につながるような対応が必要だが。

答 医療機器は現状のまま使用していただける状況である。

問 地域医療におけるかかりつけ医として、地域に身近な医師が必要だ。川合診療所再開に向けた取り組みは。

答 休診になって以来、昨今の医師不足の状況もあり、再開の調整がつかない。引き続き、医師の確保による診療再開を目指しつつ、地域の意向も伺いながら今後の方向性を検討していきたい。

問 レントゲンなどの医療機器は現在も使用可能か。

答 現在、そのままの状況で使える。

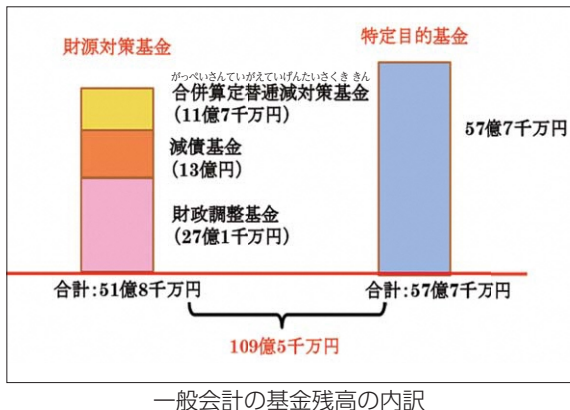
(市民総務部長)

その他の質問

- 三和学園関連施設整備の遅れと教育環境の整備は
- 地域公共交通の拡充を
- 福知山市の農業振興を問う

Q 100億円を超える基金の有効活用は

A 普通預金以外の活用を実施している



一般会計の基金残高の内訳

- * 財政調整基金：自治体が財源に余裕がある年に積み立て、不足する年に取り崩すことで財源を調整し、計画的な財政運営を行うための貯金。
- * 特定目的基金：大型公共施設の整備など、特定の目的を計画的に実施できるよう積み上げた預金。
- * 合併算定普通減対策基金：合併による特例期間が終了し、普通交付税の減額による財政運営への影響を最小限度に抑える為に積み立てられた預金。

その他の質問

- ・決算審査時期の前倒しの必要性について

蒼士会

野田 勝康 議員



問 本市の平成29年度の一般会計における基金(預金)残高は。

答 財源対策基金で約51億8千万円、特定目的基金で約57億7千万円あり、合計約109億5千万円である。

問 平成29年度の基金の運用利息額は。

答 基金残高(約109億5千万円)の運用利息額は1809万円である。

問 では、一般会計の起債(借金)残高(約494億7千万円)の利払額は。

答 起債の利払い額は約4億3290万円である。

問 確かに、急な財源不足や災害などの対応には、一定の基金は必要であるが、双方の利率にはかなりの違いがある。100億円を超える基金を普通預金に預けても、今の預金利息は僅かである。市民の税金の積み重ねである基金の有効的な運用や、起債の繰上げ償還に対する考え方は。

答 平成29年度から、運用に関しては、元金が保証されている「国債」や「地方債」を購入し、歳入の増加を図っている。また、繰上げ償還も行い、公債費の将来負担を軽減している。(会計管理者)

Q 公設福祉避難スペース拡充を

A 設備配備など順次拡充していく



上川口小学校 広域避難場所 表示

大志の会

桐村 一彦 議員



問 高齢者や障害者の避難への対応は。

答 自助、共助による災害時要配慮者避難支援事業に取り組んでいる。高齢者や障害のある人など災害時に何らかの支援が得られる方の登録の申請をしてもらっている。個別の避難計画を地域内で情報共有し地域住民の命は地域自らで守る精神に基づき、災害時の対応や要配慮者の迅速な避難誘導につなげていただいている。今後とも、マイマップや避難行動タイムラインの作成推進など、避難体制の構築に努めていきたい。

(福祉保健部長)

問 高齢者や障害者が避難所に避難した際の対応は。

答 指定福祉避難所は(社)福知山民間社会福祉施設連絡協議会と協定を締結し、障害のある人や介助の必要な高齢者などを広域避難所から受け入れる二次的な避難所である。現在高齢者福祉避難所12カ所、障害者施設5カ所の合計17カ所である。また、昨年度からは広域避難所に要配慮者が一時的に避難生活を送るための公設福祉避難スペースを市内4カ所(ハピネスふくちやま他)に整備した。

(危機管理監)

その他の質問

- ・災害復旧復興事業の現状について(災害：道路、河川、山林、農地)
- ・通園・通学中の子どもたちへの安全安心対応について
- ・歳入予算にみる「福知山市のふるさと納税」について
- ・公共施設マネジメントについて

Q 由良川沿川全域で内水対策の充実を

A 流域特性などを検討して議論する



近年相次ぐ庵我地域の内水被害

福知山未来の会
森下 賢司 議員



問 由良川沿川全域で内水対策の必要性は。

答 外水対策と共に重要な課題だ。（市長）

問 由良川右岸庵我地域に排水ポンプ施設設置を。

答 排水ポンプ施設は有効な対策の一つ。右岸地域の地形、人家位置、流域特性などの観点から充分検証した上で対策検討が必要。

問 排水ポンプ車の増車や、冠水前の早期配置は。

答 樋門操作や内水状況を確認し、国・府と連携して早期配置を行う。庵我地域にも内水状況に応じて配置しており、今後浸水被害早期発生が見できるところから早期

配置を要請する。

問 右岸地域に調整池や調節池が検討できないか。

答 調節池は一定時間の浸水被害軽減に効果がある。右岸地域の流域特性を踏まえ、由良川大規模内水対策部会で議論したい。

問 由良川本川の河道掘削や樹木伐採を一層国に求めていく必要があるが。

答 国交省では本年度から3カ年緊急対策として河道内樹木伐採が行われる。その他の河道掘削など必要な箇所も国交省と協議しながら要望していきたい。（建設交通部長）

その他の質問

- ・農地を守り農業を振興させていくための策は
- ・三段池公園周辺の整備のあり方は
- ・学校統廃合によって閉校した学校の教育備品や図書などの活用策は

Q 土師地区の騒音、悪臭対策は

A 状況によって臭気測定も検討する



土師新町東の住宅地

新公会
中嶋 守 議員



問 騒音と悪臭の改善策の早急な実施はないのか。本市としてどう考え、どう対応しているのか。

答 近隣住民の方から通報を受けた場合、直接訪問して苦情内容を確認し、その都度、原因者である事業者に対して必要な改善策を検討されるよう重ねて要請を行っている。

問 実際に被害で苦しんでおられる現地宅へ訪問されたのか。

答 現在のところ、通報を受けて直接お話を聞き、他に地元の住民組織の代表的な立場の人を窓口と

して、近隣の住民集会における発言内容などもお聞きする中で、地域住民の方々の全体的な思いを理解させていただいている。

問 地元の要望事項について、本市としての考え方はどうなっているのか。

答 今後関係機関と連携し、原因者である事業者に対して、引き続き住民の皆さまの声をお伝えしていくとともに、市としてもその要望が実施され、住民の生活環境が守られるように努めていきたい。（市民総務部長）

その他の質問

- ・保育所における保育士の確保について
- ・本市の防犯カメラ設置状況について

Q ポンプの停止は人災では

A 国の施設であり答弁は控えたい



汚水が流入した荒河排水機場、第2排水ポンプの冷却水ポンプ

その他の質問

- 水道保証金の未返還及び夜久野町小倉地域の農業集落排水施設使用料徴収漏れのずさんな管理体制について
- 有害鳥獣捕獲事業における捕獲従事者に対する捕獲許可が遅れている理由
- 福知山市野生鳥獣被害防止対策事業実施要綱の履行状況について
- 福知山駅南・駅北の歩道区域に設置されている喫煙機について（学生の通学路である）

無会派

荒川 浩司 議員



問 第2排水ポンプの冷却水ポンプNo.1～No.3のマンホール部分に、それぞれ水位を計る電極コードとポンプ用の電源ケーブルが通っておりマンホールに二つの穴がある

（市長）

答 第2排水ポンプの冷却水槽へ汚水が流入し、ポンプが故障する恐れがあったため停止したと、国土交通省から聞いている。

問 平成30年7月豪雨では、全壊5棟・床上浸水208棟・床下浸水493棟・その他、甚大な被害が発生した。その中で荒河排水機場の第2ポンプが停止したが、その理由は。

答 冷却水ポンプの設置や点検は、マニュアルなどを踏まえ国土交通省が実施していると聞いている。

問 冷却水ポンプのマンホール部分に二つの穴があいており、そこから汚水が流入し排水ポンプを停止させたのは、管理能力不足の人災ではないのか。

答 国土交通省の管理施設であり、答弁は控えたい。（建設交通部長）

Q 旧3町の拠点施設は存続すべきだ

A 民間の管理運営方法を検討したい



温泉など多様な施設が集積する都市と農山村の交流拠点「農匠の郷やくの」

その他の質問

- 市バスの運行について
- 空き家対策について
- 保育・教育の保護者負担について
- 会計年度任用職員制度の実施について

日本共産党福知山市会議員団

紀氏百合子 議員



問 第三者評価委員会の検討内容と結果に対する市の考え方は。

答 設置当時と大きく社会情勢や市民ニーズが変化している中で施設を経営するという視点で、あり方・見直しの方向性を示してもらった。報告は真摯に受け止め、まず指定管理者と協議して市としての方針を整理したい。

問 条例に縛られ運営しにくいなら、条例改正をしたらどうか。

答 より民間の自由度の高い管理運営を図るための新たな管理運営方法を検討していきたい。

問 旧3町の施設は、地域の活性化や都市との交流など、3町の発展のために長い年月をかけ企画・整備・運営されてきた重要な拠点施設だ。なんとでも存続させることを前提としての検討が必要だと思うがどう考えているか。

答 第三者評価委員会の報告を受けて、現在、指定管理者と解決策を検討しており施設の閉鎖を想定しているものではない。施設の存続、サービスの自由度の高い管理運営を図るための検討を行いたい。（財務部長）

Q 選挙投票率を上げる取り組みは

A 高齢者への対策は研究したい

日本共産党福知山市会議員団

金澤 栄子 議員



高齢化が進む地域に新しい投票所
(かしの木台ホール)

その他の質問

- 子どもの医療費助成の拡充について
- 加齢性難聴の補聴器購入公的補助について
- 男女共同参画社会の実現について

(選挙管理委員長)

問 投票の仕方について、広報やホームページだけでなく、介護や福祉のパンフレットなどに掲載してはどうか。

答 庁内福祉の窓口につき、関係部署と連携する。

問 投票所まで行けない高齢者へは移動期日前投票所・巡回投票カー導入、若い世代に向けてはショッピングセンターでの期日前投票所設置など検討は。

答 巡回投票カー導入は有効性について研究したい。ショッピングセンター投票所は、オンライン設備に多額の費用がかかるなど困難な状況だ。

問 地元から長年要請されてきた、かしの木台集会所に投票所設置の状況は。

答 7月参議院選挙から、かしの木台、荒河ヒルズ、岩井新町の投票所とする。自治会へ知らせる。

問 期日前投票が増えていく中、選挙公報の届くのが遅い。いつまでに届けることになっているのか。市ホームページへの掲載は。

答 水曜日に各自治会へ届け、投票日の2日前までに届けることになっている。ホームページにも掲載しているが、お知らせをしていく。

Q 鳥獣駆除業務がなぜ遅れたのか

A 駆除隊員に説明会を行う

日本共産党福知山市会議員団

塩見 卯太郎 議員



イノシシ、シカの捕獲檻

その他の質問

- 災害復旧事業における契約不調の問題点について
- 雨季に備えた内水対策について
- 予算執行のあり方を問う
- 庵我会館の公共施設マネジメントの取り組みについて

問 今年の有害鳥獣駆除登録、従事者証発行の業務が遅れた原因は何か。

答 複数の狩猟団体から狩猟要件に関わって要望があり、その対応に時間を要したことが遅れた要因である。関係者に対し深くお詫び申し上げる。

問 狩猟関係者の申請書類の日付を4月1日にしたのはなぜか。また登録期間を従前の3年を1年にした理由は。

答 網がかりや事故など4月1日からの駆除に対して許可証を発行した関係である。また登録期間を3年から1年に変更し

たのは、安全対策などを考慮し、毎年確認とした。

問 この間、隊員や農区関係者から意見を聞いた。混乱を招いた関係で説明会などの対応は。

答 隊員を対象に、お詫びと説明会を開催する。

問 有害鳥獣防止柵について、農区から出されている要望箇所と延長、今後の取り組みは。

答 89農区から144kmの金網防止柵などの要望が出ている。今年の予算は2千万円である。今後鳥獣害被害対策協議会で検討し、入札を予定していく。(産業政策部長)

Q 公立大学の将来展望と経営課題

A 財源確保で京都北部の知の拠点に



福知山公立大学の食堂座席数全224席

蒼士会
足立 治之 議員



- 問** 「知の拠点」整備構想では、令和2年度には入学定員200名を掲げているが、進捗状況は。
- 答** 今秋の情報学部を設置認可により、1学年200名体制ができ、令和5年には4学年で800名体制となる。（市長）
- 問** 学生は全国から集まっているが、北近畿からの志願者獲得に向けての取り組みは。
- 答** 本年の北近畿出身の学生数は13名であるが、北近畿校長会へのトップセールスによりその割合を高める。
- 問** 来春卒業の一期生の地元定着への就職対策は。
- 答** 本年度の学生の住宅は確保済み。来年度以降は民間の投資と高齢者との住宅シェアなどを考える。
- 問** 持続可能な大学運営のための解決支援方法は。
- 答** 教育研究の充実を通じて地域との連携を強化し、財政強化を図る。（市長公室長）
- 問** 京都府や近隣市町の協力を得、企業とのマッチング会などを開催する。
- 問** 学生800名体制の食堂などハード面対策は。
- 答** 公立大の主体性と共に中長期の課題とする。
- 問** 学生数の増加にあたって住宅環境の取り組みは。
- 答** 今年度の学生の住宅は確保済み。来年度以降は民間の投資と高齢者との住宅シェアなどを考える。

その他の質問

- ・福知山市における観光振興施策について

Q 三和荘のあり方報告への対応は

A 存続に向け新たな管理運営を検討



まちづくりの拠点施設「三和荘」

福知山市議会公明党
吉見 茂久 議員



- 問** 第三者評価委員会の報告書には民間のノウハウが生かされていないとある。ならば、柔軟性ある条例に改正できないか。
- 答** 自由度の高い運営契約とするためには、施設を管理運営する事業者が自らの判断で開始時間や利用料金などを適宜柔軟に設定できるようにする必要があるので、このため、現在、三和荘指定管理者NPO丹波・みわと施設の存続、施設サービスの提供の継続に向けて、より良い自由度の高い管理運営を図るため、協議検討を始めさせていただいた。（財務部長）
- 問** どのように業務改善を行うのかについて本市からも具体的なプランを提示してもらいたい。
- 答** 現在の三和荘は、一定の売り上げは確保しているが、公的な意味合いが強い運動施設やホールなど収益力を望めない部分の管理も行っている。今後、機能ごとに運営状況を詳細に見直し、営業収益の向上など、経営改善を行うため、指定管理者と経営コンサルタントなどの専門家、市職員のプロジェクトチームで検討を進めていきたいと考えている。（地域振興部長）

その他の質問

- ・大谷川改修と家屋等の浸水対策について
- ・幼児教育・保育無償化への対応と通園に係る安全対策を
- ・交通弱者の支援について

Q 市民病院への意見・要望の対応は

A 院内で共有し検討・改善している



市民病院正面玄関右手の投書箱「みんなの声」

その他の質問

- ・選挙投票率の向上と投票所のあり方について
- ・スポーツ振興について
- ・福知山観光地域づくりセンターの取り組みについて

新代会
柴田 実 議員



問 投書箱「みんなの声」での意見や要望の件数と主な内容は。
答 平成30年度は222件。主な内容は、診療体制・施設整備に関するものや職員の対応に対して問題点の指摘などのほか、病院に対する感謝の言葉も多くいただいている。

問 意見要望への対応は。
答 全て院長が目を通し、幹部、担当部署と共有して対応を検討しながら改善に役立たせている。要望やクレームなどについての対応の一部を院内掲示板とホームページでお知らせしている。

問 立体駐車場は入口と出口が交錯して危険だと思いが、また、過去に事故は起きていないか。
答 用途地域の指定により、出入口において複雑な動線となっている。そこで、係員を配置しているほか、信号機や横断歩道を設置して車や歩行者の安全かつ円滑な通行確保を図っている。その結果、現在まで一例も事故は起きていない。

問 駐車場改修の予定は。
答 抜本的な改修は難しいが、安全の確保に引き続き努力をしていきたい。（病院事務部長）

Q 交通事故から歩行者を守る方策は

A ゾーン30も効果のある安全対策



石原地域のゾーン30

その他の質問

- ・中高年の引きこもりを未然に防ぐ施策について
- ・農業用ため池の有効な維持管理の施策について

福知山未来の会
田中 法男 議員



問 交通事故がなくならない課題は何があるか。
答 交通事故は運転手の不注意によるものだけではなく、道路形状など、複合した要因がある。

問 通学路での事故防止の対処法はどうか。
答 生活道路における歩行者などの安全な通行を確保することを目的に、定められた区域全体の最高速度を30kmに制限し、その他の安全対策を組み合わせる生活道路対策のゾーン30も考えられる。

問 ゾーン30の設置にかかる費用は、何に使っていくらぐらいなのか。

答 道路表示や標識の設置に要する費用が主なものとなる。金額についてはその地域の道路や交通状況により異なるが、石原地域の例では、区域面積が約20haで約300万円となっている。

問 本市ではなぜ広がらないのか。
答 本市においては、平成28年3月に設置の石原地域一カ所のみである。ゾーン30の設定には、住民の運行にも影響が出るのと、指定の要望や街頭啓発など、地域の協力体制が必要となってくる。（建設交通部長）

Q 小原田公庄停車場線廃線の対策は

A 残る2線の道路改良を検討する



日本共産党福知山市会議員団

中村 初代 議員



行き違いのできない六日線(大江町)

- 問** 河守、公庄地区内水対策は昨年7月豪雨被害も含めた計画とすべきでは。
- 答** 五つの支川からなるこの地域では、対策には多くの時間と費用がかかるため、早期に着工でき、早く効果が発揮できる対策が必要と考えた計画となっている。(市長)
- 問** 蓼原川、公手川は護岸の嵩上げと河床掘削、河道拡幅を同時に実施すべきと考えるが、見解は。
- 答** 公手川は護岸の嵩上げと同時に河川改修を行う。蓼原川は京都府が護岸の嵩上げを行う予定。
- 問** モデル地区以外の尾藤、千原、南有路地域の内水対策について見解は。
- 答** 支川ごとに充分検証し、対策を検討する。排水ポンプ車を適正配置する。尾藤川は河川の浚渫、護岸補強を府に要望していく。古地川、矢津川は河川の浚渫など維持管理に努める。
- 問** 谷河川の砂防工事に伴う小原田公庄停車場線廃線の方向が出ているが小原田への通行の対策は。
- 答** 残る河西金山線、六日線に対応する。2線については、現場確認し、支障があるところは、改良を検討する。(建設交通部長)

その他の質問

- ・災害時の要配慮者への対応について
- ・障害児・者が安心して暮らせるために

Q 若い世代の活性化策への支援を

A まちづくりに若い世代の力は重要



福知山未来の会

小松 遼太 議員



年々にぎわいを増す8月15日開催「ドッコイセ子ども大会」

- 問** 若い世代が中心となって、まちの誇りづくりに貢献する、8月15日の「ドッコイセ子ども大会」や9月中旬頃開催の「福知山イル未来と」などへの市の支援は。
- 答** こども大会単独の補助はなく、「ドッコイセまつり」全体に対して120万円の補助。「福知山イル未来と」は市の予算計上はないが、専門人材派遣支援や場所などの協力を行い、今年度も同様の支援を行う予定。
- 問** (産業政策部長) ドッコイセこども大会は、少額の予算分配のみで、寄付や自己負担資
- 金、クラウドファンディングなど色々な手法を駆使して資金調達をしているが、継続性含め市と協力してイベントを実施することは重要で、地域活性化のため、若い世代の支援策についての拡充は。
- 答** まちづくりに若い世代の行動力やアイデアは重要である。他にも若い世代が中心になって行う福知山ワンダーマーケットなどへ補助金の支援はしていないが、意欲を持って頑張っている人を後押しし、事業内容を精査しながらさまざまな支援について検討を進めていく。(市長)

その他の質問

- ・就学前の子どもを持つ子育て世代への支援の充実を
- ・大河ドラマ「麒麟がくる」放送開始までに環境整備と福知山の魅力発信を

治水対策事業の早期完了を

京都府との意見交換

京都府中丹西土木事務所から、河川治水対策・内水対策の概要説明を受ける

由良川改修促進特別委員会

活動日 7月2日(火)

京都府中丹西土木事務所出張委員会を開催し、由良川水系由良川中・下流部における、京都府管理河川の改修事業の進捗状況と令和元年に実施計画が推進される改修予定事業内容について説明を受けた。



中丹西土木事務所での出張委員会

災害時の総雨量

平成30年7月豪雨（3日間の総雨量512mm）福知山市佐々木は、平成25年台風18号（489mm）松尾や平成26年8月豪雨（335mm）福知山より総雨量が多く、記録的な大雨となったとの報告を受けた。

ダム役割

大野ダムの役割と洪水時の

ダム操作についての説明では、ダムに入る水量よりも少ない量を放流することでダム下流の水位を低下させている。ダム貯水池が満杯になっても、入る水量以下の放流しか行わないため、ダムに起因した下流域の水位上昇はないとの説明があり、大雨が予想される場合は、予め貯水量を下げ、流入量が500m³/秒になった時点から洪水調整を開始し下流の水位を下げる計画となっているとの説明を受けた。

府管理河川の改修工事

由良川水系の弘法川・法川での「床上浸水対策特別緊急事業」では国・京都府・福知山市の3者が連携して浸水対策事業を実施し、京都府は、弘法川および法川の河川改修・調節池・排水ポンプ施設を整備し、早期に浸水被害の軽減に向けた事業を推進している。本年度は河道掘削・護岸工事・橋梁工事および用地買収を実施するとの説明を受けた。

大谷川・相長川・大砂利川などは、国が施行する由良川中流部改修事業と整合を図り、

「総合流域防災・総合河川事業」などとして重要な基盤整備河川改修事業を早期に推進する必要がある。本年度大谷川については、主に土地区の築堤・橋梁・下水道移設工事などを推進すると説明があった。



府で施工中の弘法川の新設排水機場

危機管理型水位計の設置

危機管理型水位計については、流域住民の早期避難への活用を図る目的で設置している。

堤防高や川幅から、相対的に氾濫が発生しやすい箇所・行政施設や病院などの重要施設が浸水する可能性が高い箇所・支川合流部など、既存水位計では実際の水位が捉えにくい箇所など、由良川水系の

福知山市域では16河川に危機管理型水位計を設置したとの説明を受けた。

改修事業の早期完了へ向け

その後、京都府中丹西土木事務所の担当職員との意見交換・質疑応答を行い、由良川改修事業に伴う府の管理河川改修事業・内水対策事業の円滑な推進と早期完了への要望を行った。

出前懇談会のお知らせ

由良川改修促進特別委員会による出張委員会を開催します。

日時／令和元年8月9日(金) 午後7時30分～9時

場所／大江町総合会館 1階視聴覚室

水害の無い安全安心な住みよい福知山を目指して住民の皆さんとの意見交換を行います。どなたでもご参加いただけます。皆さんのお越しをお待ちしております。

議会改革度ランキング2018 全国11位

～市民に開かれた身近で信頼される議会を目指す取り組みの成果～

住民自治の確立を議会運営の基本理念とし、その実現のため議会自らが改革に取り組む強い決意を込めた「福知山市議会基本条例」を平成25年4月1日に施行しました。それ以来、議員が一丸となり、市民の皆さんと共に活発な議会活動に取り組んできました。この条例の理念の実践が、平成25年度のランキングの急上昇と、その後の上位の継続として現れています。

《議会改革度ランキングとは》

早稲田大学マニフェスト研究所が、全国の地方議会（1,788議会）に対して議会改革の取り組みに関する調査を実施され、結果をランキング形式で公表されているものです。

調査は **情報共有** **住民参加** **議会機能強化**
の3つの分野について行われます。

《ランキングの推移》

2017(H29)	13位
2016(H28)	20位
2015(H27)	10位
2014(H26)	27位
2013(H25)	37位
2012(H24)	319位



2018年度の分野別順位

情報共有	32位
住民参加	27位
機能強化	8位



※2018年度のランキングは、2019年6月4日に公表されました。1447議会から回答があり、本市議会の順位は、都道府県議会を除いた1400市区町村議会の中の順位です。

福知山市議会の議会改革の取り組み

情報共有の取り組み

- 全ての会議の原則公開
- 議案に対する各議員の賛否状況の公開
- 政務活動費の後払い方式の採用と使途、収支報告の詳細な公開
- 本会議および予算・決算審査委員会などのネットでのライブ中継と録画配信
- 本会議の会議録のネット公開。気になる話題や発言者から議事録を検索できるシステムの運用
- ホームページの複数言語対応や文字拡大機能の導入などによる情報のバリアフリー化



住民参加の取り組み

- 議会報告会「議会と語ろう！」を開催して市民や各種団体と積極的に意見交換
- 聴覚障害を持つ方が会議を傍聴できるよう手話通訳を導入（事前申込が必要）
- 請願審査において請願者の発言機会を設け、ネット中継を実施
- インターンシップ受入や、福知山公立大学の講義において高校生・大学生と模擬選挙、グループディスカッションを実施するなど、シティズンシップ（主権者意識）推進



議会報告会にはこれまでに延べ約800人の市民の方に参加していただいている。

インターンシップ参加者と議員が意見交流し議員の役割や心構えなどについても質問があった。



議会機能強化の取り組み

- 市の重要な施策や課題に関して、意見交換会などでの市民の声を踏まえ、地域の課題解決に向けた政策提言を実施
- 予算・決算審査における議員間の自由討議を踏まえた「意見・提言」を市に提出
- 市政運営の方向性を定める構想や計画の策定を議決事項と定め、計画段階から議会意見を反映
- タブレット端末などのICTの活用（情報の迅速で確実な伝達、会議資料のペーパーレス化による効率化・省力化、災害警戒時・発生時の情報共有など）



一般質問ではタブレットを活用して議場の大型スクリーンに資料などを投影。質問の意図を市民や執行部に正確に伝える工夫をしている。

本会議・委員会を傍聴しませんか

本会議は市役所本庁6階へ、委員会の傍聴は本庁5階各委員会室へお越しください。
なお、団体で傍聴を希望される方は、事前に市議会事務局までご連絡ください。

手話通訳による本会議・委員会の傍聴ができます。

聴覚に障害のある方が、本会議・委員会を傍聴できるよう、傍聴席において手話通訳を行っています。手話通訳を希望される方は、所定の用紙に必要事項を記入の上、市議会事務局へ提出してください。ただし、手話通訳者および会場の都合などにより、お受けできない場合もあります。

○申請書は、福知山市議会ホームページからもダウンロードできます。

○申込み先：福知山市議会事務局

〒620-8501 福知山市字内記13番地の1(市役所5階)

電話：0773-24-7031 FAX：0773-24-7080

e-mail：sigikai@city.fukuchiyama.lg.jp



あじうとっ。

9月定例会の予定 (57日間)

- 9月 2日(月) 本会議〔提案理由の説明(補正予算・条例等)〕
- 11日(水) 本会議〔質疑～委員会付託(補正予算・条例等)、提案理由の説明(決算)、一般質問〕
- 12日(木) 本会議〔質疑～委員会付託(決算)、一般質問〕
- 13日(金) 本会議〔一般質問〕
- 17日(火) 各所管別委員会〔条例・その他〕
- 18日(水) 予算審査委員会〔補正予算〕
- 19日(木) 予算審査委員会〔補正予算～討論・採決〕
- 26日(木) 本会議〔委員長報告～採決(補正予算・条例等)〕
- 27日(金) 決算審査委員会〔所属別質疑〕
- 30日(月) 決算審査委員会〔所属別質疑〕
- 10月 1日(火) 決算審査委員会〔所属別質疑〕
- 2日(水) 決算審査委員会〔予備日〕
- 15日(火) 決算審査委員会〔総括質疑〕
- 16日(水) 決算審査委員会〔自由討議・討論・採決〕
- 23日(水) 本会議〔委員長報告～採決(決算)〕
- 28日(月) (会 期)

※この会議予定は、今後変更になる場合があります。

また、この他に、全議員協議会などの会議を随時開催します。

市民の声について

議会に対する市民の皆さんの声を聴取させていただく「市民の声」のアンケート箱を本庁、各支所に設置しております。

議会を傍聴してのご意見・ご感想や、議会に対する市民の皆さんの声をご自由にお書きください。

お寄せいただきました「市民の声」は、今後の議会運営の参考にさせていただきます。

また、市行政に関することにつきましても、担当部署に内容をお伝えさせていただいております。

編集後記

5月から市民の皆さんに選出された24人の議員による新しい議会が始まりました。

「議会だより」は議会活動や情報を発信するために重要な役割を担っています。

広報広聴委員会も新メンバー7人により、議会活動の「見える化」を目指し、市民の皆さんに読んでいただける誌面づくりに全力で取り組んでいます。

(広報広聴委員会)



「元気やで福知山！」

No.30

議員訪問インタビュー

■今回の訪問議員：柴田 実 ・ 足立 治之

福知山スクエアダンス・ブラックビーンズ

福知山でさまざまな活動を通じてがんばる人を議員が訪問し取材します。

今回「スクエアダンス」というちょっと聞きなれないダンスを楽しむサークルを訪問し、代表の横山浩子さんと大西美香子さんにお話をお伺いしました。



横山さん（左）大西さん（右）

スクエアダンスってどんなダンス

アメリカ生まれのフォークダンスの一種で、軽快なカントリ・ミュージックのメロディーに合わせて8人1組で踊ります。踊ると言っても、歩きながら手をたたいたり、回転したりするだけなので、子どもから大人まで幅広い層の方に楽しんでいます。約2時間〜2時間30分の練習で、8千歩〜1万歩を歩くといえます。健康にもうってつけのダンスです。

二つ目の特色として、このダンスには「ハッシュ」と「シンギング」の2種類があります。

「ハッシュとは」

軽快な音楽が流れる中、コーラーと呼ばれる方がその音楽に合わせて英語で指示をし、その指示通りに踊るダンスを言います。使用される英語もそれ程難しいものではありません。

「シンギングとは」

軽快な音楽とともに歌が流れ、その中に英語の指示が組み込まれているものをいいます。たとえば日本語の六甲おろしの歌の中に英語の指示が組み込まれ、その指示に合わせてダンスを踊るのがシンギングです。

いずれの踊り方も英語の指示を聞き、頭で理解しながらのダンスですので、脳の活性化につながります。

スクエアダンス立ち上げのきっかけと今後の目標

代表の横山さんは、転勤族の夫と共に日本各地を巡り、千葉



練習の風景

でスクエアダンスとめぐり合いました。夫の生まれが福知山で、退職後福知山に戻ってこれ、



このクラブを7年前に立ち上げられました。横山さんは、関東での生活が長く、福知山弁との闘いや練習場所の手配など、苦労が多かったとのこと。その甲斐あって、現在会員22名と大所帯となっています。

スクエアダンスの本部はアメリカにあり、日本国内のクラブ総数は500クラブで、愛好者は1万5千人です。

今後は、クラブ員はもとより、コーラーのレベルアップ（大西さん特訓中）に全力を注ぎ、将来的には100名のダンスパーティーが目標です。

スクエアダンス体験会

場所 六人部地域公民館
日時 8月3日（土）
8月18日（日）
8月24日（土）

いずれも午後1時30分
から午後4時まで

【お問い合わせ】

090-1486-8528
大西さんまで

議会だよりに広告を掲載しませんか

広告規格 1枠あたり 横87mm×縦45.5mm
募集枠 2枠(2枠を使った広告も可能です)
掲載料 1枠 8,000円(税別)
詳しくは、市議会事務局までTEL0773-24-7031

これが実際の広告
スペースです。

